

VP115N/VP215N-S 真空ポンプ 取扱説明書

この度は、真空ポンプをお買い上げいただきありがとうございます。必ずこの「取扱説明書」をよく読み理解した上で、本製品を安全にご使用ください。また、いつでも読むことができるように大切に保管してください。



VP115N



VP215N-S



警告

下記内容をお守りください。
重大な事故や死亡または重傷を負う可能性があります。

- ・ 本製品は、容器内から気体を排出し真空にするポンプです。主にエアコンシステムの真空引きに使用します。目的以外の使用を絶対にしないでください。
- ・ 本製品は、エアコンシステムの修理時に使用します。エアコンシステムを理解し経験のある専任の作業者が使用してください。
- ・ 雨下での使用や、濡れた手で本製品を使用しないでください。感電の恐れがあります。
- ・ 火気の近くで使用しないでください。また可燃性・揮発性の高い液体・ガスのある場所では使用しないでください。火災・爆発の危険があります。
- ・ 通気環境の良い屋内で使用してください。
- ・ 本製品を使用しない時は、電源を切り、電源プラグを抜いてください。
- ・ 本製品を使用中に異常（異常な高温、煙、異音、破損等）が発生した場合は、電源プラグを抜いてください。火災・感電の危険があります。
- ・ 家庭用の 100V コンセントを使用してください。発電機・蓄電池等で使用しないでください。
- ・ 落下等の強い衝撃を与えたり、電源コード・接続ホースを強く引っ張ったりしないでください。
- ・ 使用時・保管時・移動時は水平に保ってください。傾けたり裏返したりしないでください。
- ・ 本製品を改造・分解しないでください。
- ・ 子供の手の届く場所に保管しないでください。

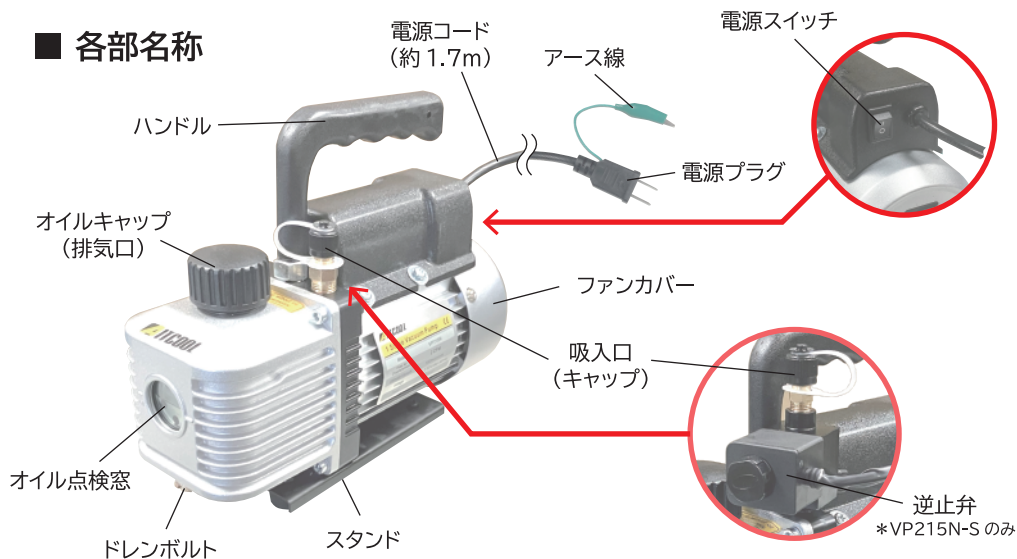


注意

下記内容をお守りください。
負傷や物的損害の可能性があります。

- ・ 使用前に点検し、破損・変形・異音等の異常がある場合は使用せず点検依頼をしてください。
- ・ 電源コードは直接コンセントに接続し、アース線を接地してください。延長コードを使用する場合、線径 2.0mm²×10m以下で接地付きのものを使用してください。電圧降下により動作不良や発熱・発火の恐れがあります。
- ・ 外気温が 5～40℃の範囲で使用・保管してください。
- ・ 直射日光下・高温高湿・水気を避け、風通しの良い屋内で保管してください。

■ 各部名称



*注) 予告なく仕様、セット内容、デザイン等が変更になる場合があります。ご了承ください。

■ 仕様

モデル	VP115N	VP215N-S
電源	AC100V 50/60Hz	
モーター出力	180W	
ローター方式	シングルステージ	ツーステージ
逆止弁	なし	あり
排気速度	毎分50/57L *50/60Hz	
到達真空度	150ミクロン	15ミクロン
オイル量	約200ml	約150ml
吸気口ねじサイズ	1/4フレア(7/16-20UNF)	
*変換アダプター使用時	5/16フレア(1/2-20UNF) M10×P1.5	
本体サイズ	250×93×205mm	
本体重量	約4.5kg	約5kg
付属品	変換アダプター2種、真空ポンプオイル	
対応冷媒ガス	R12・R22・R134a・R410A、R32・R1234yf 等 *R32・R1234yf(微燃性冷媒ガス)は換気必須	

ローター方式 (ステージ) について

シングルステージには1つ、ツーステージには直列に2つローターが備わっており、シングルステージに比べツーステージは、2つのローターで吸気をするためパワーが強く高い真空度を作ることができます。

逆止弁 (逆流防止弁) について

停電等電源が意図せず切れたときに、エアコンシステム内が真空のためエアコン側に吸い込む力が発生します。逆止弁は緊急時に真空ポンプのオイル等が逆流しエアコン内に浸入することを防ぐ装置です。

■ 使用前の準備について



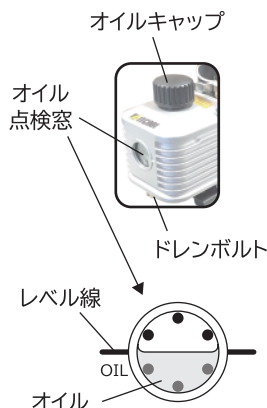
新品の状態時、真空ポンプ内にオイルが入っていません。
開封後、使用前に真空ポンプにオイルを注入してください。

《オイルの注油》

1. 本体のオイルキャップを外し、注入口よりオイルを注入します。
オイル点検窓のレベル線まで給油したらオイルキャップを取り付けます。
2. 試運転をしてからスイッチを切り、オイル量が適正か確認してください。

《オイルの交換》

1. 本体のドレンボルトを外し、オイルを排出します。受け皿等で回収してください。
2. 全て排出したらドレンボルトを取り付け、オイルを注油してください。



- ・ オイルは、付属のオイルもしくは市販の真空ポンプオイル（VG68）を使用してください。（気温が低い場合はVG46を使用してください。）
- ・ オイルは適量入れてください。多くても少なくても作動不良や故障の原因になります。
- ・ 定期的にオイルの状態を確認し、量が減っているまたは汚れている場合は、オイルを補充または交換してください。

《暖気運転》

使用前に暖気運転をしてください。特に長期使用していなかったり、外気温が低い時はオイルの温度が上がるまで暖気してください。

1. 電源プラグとアース線をコンセントに接続します。
2. 吸気口のキャップを外し、電源スイッチを ON にしてしばらく作動させます。
3. 油温が上昇したら通常使用してください。



周辺温度が 5℃以下の場合、起動しないことがあります。5℃以上の場所で暖気運転を行ってください。

■ 使用方法

1. 真空ポンプ本体を、地面に水平で安定した場所に設置します。
2. 電源プラグとアース線をコンセントに接続します。
3. 吸気口のキャップを外し、マニホールドゲージのホースを接続します。
4. 電源スイッチを ON にし、真空引き作業を行います。
5. 真空引きが終了したらマニホールドゲージのバルブを閉めてから電源を OFF にします。



- ・ 電源スイッチを OFF にすると真空ポンプ内のオイルがエアコン側に逆流しようとします。必ずマニホールドゲージのバルブを閉めてから電源スイッチを OFF にしてください。逆止弁付きであっても必ずこの手順で OFF にしてください。
- ・ 作動時にオイルキャップ付近から煙のようなものが出る場合があります。これはオイルキャップが排気口（フィルタ）を兼ねておりオイルが霧状になって排気されたものです。異常ではありません。大きく傾けたり裏返したりすると排気口からオイルが漏れることがあります。

■ メンテナンス

- ・ 使用前に点検し、破損・変形・異音・オイルもれ等の異常がある場合は使用せず点検（修理）依頼をしてください。
- ・ 定期的にオイルの量を確認し、不足している場合はオイルを補充してください。（真空引き作業後はオイル量がレベル線より下がっている場合があります。吸気側の接続を外して少し空回してから再度レベルを確認してください。
- ・ オイルが汚れていたり、白濁している場合はオイルを交換してください。
* 通常使用でのオイル交換目安は、約 20 時間使用後になります。
- ・ 汚れが付着した場合は、電源プラグを抜いた状態で清掃してください。
- ・ 使用後および保管時は吸入口にキャップをしてください。

